



伝上山地区
(伝上山5地区)

地域カルテ

多賀城創建記念

TAGAJO 1300th Anniversary
724 - 2024

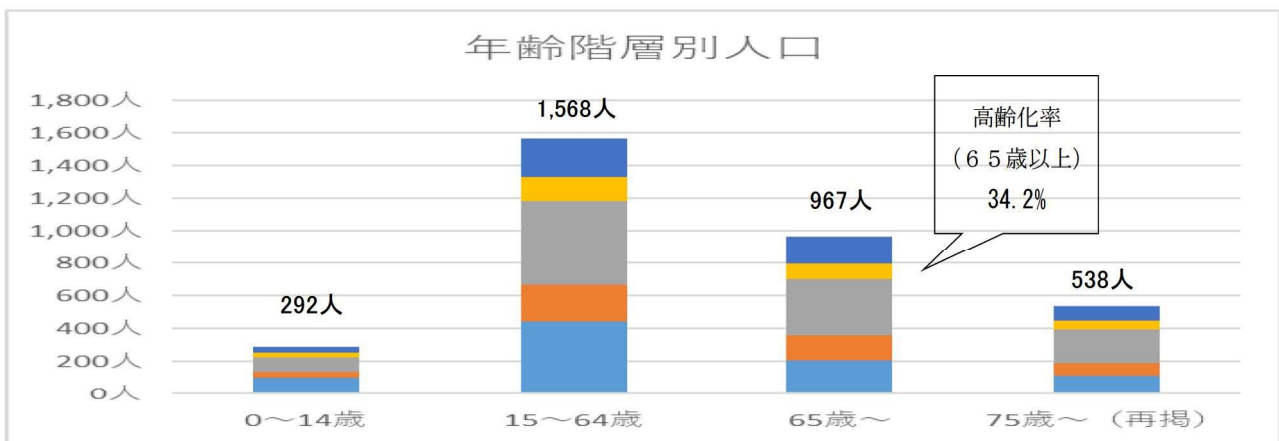
伝上山地区

伝上山・隅田・向山・東能ヶ田・西能ヶ田の5つの地区が伝上山地区として深い繋がりを持った地域性となっています。昭和17年に笠神で海軍工廠が建設されると、工員住宅建設のため開発が進められ、急速に住宅地として開発が進み、現在のような住宅地を形成しました。

【参考：多賀城市の歴史遺産 笠神村 下馬村を参照】



伝上山公園の風景



	0～14歳	15～64歳	65歳～	75歳～ (再掲)	高齢化率 (65歳以上)	合計
伝上山	36人	239人	170人	89人	38.2%	445人
隅田	28人	145人	96人	53人	35.7%	269人
向山	91人	517人	339人	204人	35.8%	947人
東能ヶ田	35人	226人	153人	81人	37.0%	414人
西能ヶ田	102人	441人	209人	111人	27.8%	752人
伝上山地区合計	292人	1,568人	967人	538人	34.2%	2,827人

(令和5年5月1日現在)

【伝上山地区の強み】

伝上山

JR仙石線沿線の低地から高台に続く住宅地で、永くお住まいの方が多く、静かで落ち着いた地区です。

隅田

丘の麓から高い所にある地区なので、水害には比較的強く安心できる。

自慢じゃ！



向山

サークル活動が活発で団結力がある。
サロンなどの男性の参加数も多く心強い。

東能ヶ田

世帯数が少ないため、地域がまとまっているところ。

西能ヶ田

高齢者のつながりが強いところ。

【伝上山地区の気になるところ】

伝上山

空き家や空き地が増えました。しかし、新しい住宅の建設等も進み、新たな住民も少しずつですが増えております。その方々にも町内会への加入はいただいております。

また、高齢化率が高い地区でもあり、今後若い世代の地区活動への参加や働きかけをどうするかが課題です。

地区内の道路は、狭い所も多く、緊急車両(消防、救急)が通行できないところもあります。住宅も密集しており、災害対応特に火災が心配な地区です。

隅田

新しい人がなかなか入ってこない。

なるほど 悩みは各地区
それぞれなのね…



向山

世帯数の割に集会所が狭いので、多くの住民が一堂に集まることが困難である。

子供会が解散しているため、子供との関わりが難しい。

東能ヶ田

新しく住まわれる方が増えているが、反面つながりやまとまりが薄れてきている。

行事が減り、子供会育成会も解散した。

西能ヶ田

新しく住まわれた方、若い方、賃貸住宅に住まわれている方との繋がりが減ってきていること。

3年前に子供会育成会が解散したこと。

【伝上山地区の自慢の行事やイベント】

伝上山

『町なかcafé』

高齢者、ひとり暮らしの方と地域の若い方との交流・集いの場として、町内会婦人部と民生委員を中心に長い間「伝上山茶話会」を行ってきました。

令和5年度からは“町なかcafé”としてリニューアルしました。土曜日の午前中に開催することで、様々な世代が参加しやすいようにしました。



町なかcaféの様子

隅田

『ラジオ体操』

子供会育成会が中心となって行っています。

自由に参加することが出来るため、子供のみならず大人も参加しています。

ラジオ体操を通じた世代間交流が図られています。



向山

『夏祭り』

令和5年7月末に新型コロナが落ち着いていることから4年ぶりに夏祭りを行いました。以前とは場所やスケールが違いますが、初めての試みとして野田の玉川を利用して花火を打ち上げました。その他、お楽しみ抽選会を行い、子供達にとって思い出に残る催しだったのではないかと考えています。



夏祭りの様子

【伝上山地区の自慢の行事やイベント】

東能ヶ田

『フライングシューズ大会』と『輪投げ大会』

フライングシューズ大会は地面に置いている点数に向けて長靴を投げて点数を競います。投げた長靴は不規則に転がって思ったところに着地しないので、観衆から笑いが生まれ賑わいます。

フライングシューズ大会の後は輪投げ大会をしました。最後にみんなで豚汁とおにぎりを食べながら反省会という名のおしゃべりをして盛り上がりました。



フライングシューズ大会の様子



輪投げ大会の様子

西能ヶ田

『お茶っこ会』

『地区開催の多賀モリ会』

誰でも参加することが出来ます。みんなで歌ったり、踊ったり、おしゃべりをしたりして、楽しく交流をしています。



お茶っこ会に参加している皆さん



多賀モリ体操とお茶っこ会の様子

【伝上山地区の自主防災組織の活動状況】

～避難行動要支援者名簿の活用状況～

伝上山

・防災への対応については、「自ら考え、準備し、行動する」ことをコンセプトとして、その中で「自助、共助、公助」に即した行動に町内会としてどう支援し関わりを図ることが出来るか、このことが大切ではないかと考えています。また、避難行動要支援者名簿の活用については、今のところ具体的にはありませんが、要支援者への支援の必要性は十分理解していることから、町内会としてどのような関わりを持てるのか、関係する情報を共有し、問題解決に向けた行動計画を検討していきたいと考えてます。

(＊地区内では気になる方の情報は一定程度、共有はしています。)

隅田

・隅田地区では防災訓練を行っていますが、避難行動要支援者名簿を活用した訓練はしていません。しかしながら、町内会としては名簿を活用していく必要性は感じており、これから役員と情報を共有して、有事の際の声掛けや一時避難所への避難避難導などが出来るように検討しているところです。

向山

・市総合防災訓練前に地区防災備蓄倉庫内の点検や備品の確認を行っています。以前は避難行動要支援者名簿を活用して、登載者1人に対して2人が担当するように決めていました。令和5年度から提供される名簿の情報が変わり同様の訓練が出来るのか。今後どのようになっていくのか不安がありますが、近場の人には有事の際の対応をお願いしています。

東能ヶ田

・東能ヶ田地区では防災訓練を行っていますが、避難行動要支援者名簿を活用した訓練はしていません。また登載者は20名位いますが、訓練以外においても、特に活用はしていません。

西能ヶ田

・西能ヶ田地区では防災訓練は行いませんでしたが、市の出前講座を利用しハザードマップの見方の学びを行いました。また避難行動要支援者名簿の登載者は約20名位いますが、名簿を活用した訓練はしていませんが、民生委員活動の訪問等で活用しています。

【伝上山地区での協力体制や連携状況】

伝上山

(1) 町内会長、町内会役員、班長、民生委員などの連携状況

- ・役員との連携については特に問題は無いと考えております。
民生委員についても町内会役員の構成の中に「民生委員・児童委員」として設けてあり、役員会や町内会事業にも出席、参加を求めています。
その他、町内会役員は地区住民の個人情報に十分に注意を払い、役員会等会議では地区内の情報の提供や収集を行っております。

(2) 若い世代への働きかけの工夫や参加状況等

- ・町内会活動への若い世代の参加は少ないです。
また、町内会役員のなり手不足が長期化し、役員の高齢化等で町内会の組織運営にも顕著に出てきております。
このような状況の解決を図るため、幅広い世代の参加を促す事業の実施やその周知の方法等を町内会活動の課題として掲げて若い世代への働きかけを工夫しながら継続して行っていきたいと考えております。

隅田

(1) 町内会長、町内会役員、班長、民生委員などの連携状況

- ・役員会に民生委員も参加しています。

(2) 若い世代への働きかけの工夫や参加状況等

- ・若い人などに町内会の役員になって欲しいと思っておりますが、一度なったら辞められないと思われるようです。そのため町内会長の任期を最長4年としましたが、それでもなかなか難しい状況です。

【伝上山地区での協力体制や連携状況】

向山

(1) 町内会長、町内会役員、班長、民生委員などの連携状況

- ・連携は出来ています。行事を行う際も役員全員に参加してもらい、内容等の了解を得たうえで実施しています。

向山いきいきサロンの様子



(2) 若い世代への働きかけの工夫や参加状況等

- ・新しく役員になってくれる方がなかなかいません。お願いしても引き受けてもらえず、現体制でも役を兼務している状況です。若い人は一度町内会役員になったら、なかなか抜けられないと感じているようです。そのため、交代制の導入も考えています。
- ・子供会は子育て世代が中心となって運営します。10年、20年後の町内会役員を育てるといった側面もあり子供会は必要だと思っていますが、再開することは難しいです。

東能ヶ田

(1) 町内会長、町内会役員、班長、民生委員などの連携状況

- ・特に問題なく、連携は出来ています。

(2) 若い世代への働きかけの工夫や参加状況等

- ・残念ながら上手くいきません。昔は子供会に入ることによって地域と交流し、その後町内会に関わっていくといった流れでした。そういったことから子供会を再開しようとしたのですが、保護者方は乗り気でない様子で現実には難しいです。

【伝上山地区での協力体制や連携状況】

西能ヶ田

(1) 町内会長、町内会役員、班長、民生委員などの連携状況

- ・民生委員と班長が同時に参加する会議は、年1回の総会のみです。そのため、民生委員が気になる世帯の情報をタイムリーに得られていません。各班長から気になる世帯の情報を得られる仕組みが望まれます。

(2) 若い世代への働きかけの工夫や参加状況等

- ・残念ながら上手くいっていません。PTA行事が無いので町内会が中心となり、いろいろなイベントを行おうとしました。しかし、子供の保護者の協力が少なく結局開催出来ませんでした。

